

平成 24 年 11 月 15 日

北相木村教育委員会
北相木村立北相木小学校

北相木小学校における特色ある活動の取り組みについて

1 北相木小学校の紹介（グランドデザイン（資料1））

(1) 本年度重点活動

ア 学力向上

○授業の充実 **○花まる学習会で学力アップ** ○読書

○基礎学力アップ・家庭学習

・朝の連ドリ ・基礎力を高める花まる漢検 サボテン（計算力）

イ コミュニケーション力向上

○互いを受け入れ高め合う交流活動

・山村留学生との交流 ・縦割り活動での他学年との交流

・南相木小学校との交流 ・地域の皆さんとの交流 ・保育園との交流

○みんなで作る児童会

ウ 体力向上

○楽しく体を動かす全校体育 ○体を動かす休み時間 ○創造的活動を培うノーメディアデー ○体力づくりのための食育 ○体力向上につながる体験活動

(2) 教育活動の土台

心の中の5つの玉を磨く自問清掃

・がまん玉 ・しんせつ玉 ・みつけ玉 ・感謝玉 ・正直玉

2 北相木村山村留学事業について

(1) 目的

北相木村の自然と温かい人の中で、知識や経験を蓄え、たくましい大人になってもらうと同時に、北相木村を「ふるさと」とし、将来にわたり北相木村の発展に寄与できる子供を育てることを目的としている。



(2) 沿革

昭和 59 年度 短期山村留学事業スタート

昭和 61 年度 北相木村山村留学センター完成 158,533 千円

昭和 62 年度 (財) 育てる会による山村留学事業スタート (補助金方式)

この間、毎年 5 名から 8 名前後の受け入れを行なう。

平成 21 年度 (財) 育てる会、北相木村での活動停止を決定 (これまで 133 名)

平成 22 年度 村単独で、山村留学事業を行なうも、センター活動ができず、受け入れ農家をまわることで、事業継続。

平成 23 年度 村単独によるセンター活動再開。企業組合「こどもの森」と提携、地域おこし協力隊事業を利用したのスタッフ確保。

平成 24 年度 はなまる学習会の支援もあり、17 名の山村留學生を受け入れ。8 月より中学生も受け入れ。スタッフも増員。

(3) 学年別児童数 (平成24年度) (単位：人)

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
地元児童数	6	7	3	5	4	5	30
山留児童数	0	1	2	6	4	4	17
計	6	8	5	11	8	9	47

(4) 具体的な効果

山村留学をすることにより、親元から離れる厳しさと他人の思いやりの中で、自己を成長させて行くことができる。また、田舎で暮らすことにより、自然や地域の人を愛することを学ぶ。同時に山村留学の子どもたちが来ることにより、刺激の少ない地元の子どもたちが、色々な葛藤の中で、自己を成長させて行くことができる。もちろん児童数が増えることで、複式解消などのメリットもあるが、それは過疎化や少子化の、根本的な解決策にはならない。そして、子どもたちを通して、村の大人たちが自分を見つめ直したり、村を見つめ直すことにより、より活気ある村づくりができる。



(5) 課題

全国的な少子化と、不景気により山村留学を希望する家庭が減ってきている。そんな中、不登校、ADHD、アスペルガー等色々な課題を抱えて、学校に行きにくくなっている子どもを預けたがる保護者が増えてきている。人数が少ないので、他の子どもにも与える影響が大きく、良い面にも、悪い面にもすぐ反応してしまい、大変不安定な学級運営や学校運営になってしまいがちである。もちろん北相木村の山村留学を経験することにより、それらの問題を克服できる場合もあるが、本来専門的な機関でもなく、目的も違うので、受け入れ時の見極めが必要になってきている。また、現在山村留学事業に関わる人は、受け入れ農家、教育委員、山留推進委員等一部であり、まだまだ全村的な事業となっていない。同時に今まで卒業していった子どもたちとの関わりも少ないので、成人式や村のイベントに関われるような事業展開をしていきたい。

(6) 今後の山村留学のあり方

「花まる学習会」の支援もいただきながら、より多くの子供たちを受け入れ、北相木村を様々な角度から見つめ直す。山村留学生も、積極的に村の事業や地区の事業に関わり、よりたくさんの経験と知識を深めていく。同時に「地域で生きていく」「地域を愛する」ということを学ばせていきたい。

地域の人たちも、子どもたちに自分の経験や知識を伝えることにより、活力を呼び起こし、薄れがちな「地域愛」を思い起こし、活気ある村づくりをめざしたい。同時に、今まで卒業していった子どもたちとのつながりを強化し、何らかの形で村との関わりを持ってもらう。今年の夏に行った成人式には3名の卒業生が参加し、受入れ農家だったお宅や、お世話になったお宅を回って、近況報告や昔話をしたようである。

3 『花まる学習会』との連携

(1) 花まる学習会とは

花まる学習会は、数理的思考力・読書と作文を中心とした国語力に加え、野外体験を三本柱として、将来「メシを食える人」そして「魅力的な大人」を育てる学習塾である。

高濱正伸氏が平成5年に設立したものである。

(2) 本校で受け入れるまでの経緯

平成23年1月、小さな村で、少ない子供たちに何をしてあげられるのだろうか。そのような思いの中で、子どもたちの思考力、判断力を向上させたいと考えていた前学校長の紹介により、教育委員長と前教育長、前校長の3人で、花まる学習会を視察した。授業を見て、「これなら北相木村の特色ある教育にピッタリ」ということで即決。花まる学習会の高濱先生も「公教育の中で、自分の培ったノウハウを生かしたい」と快諾された。山村留学事業についても、机の上ではできない体験的学習を大切にしているが、それを花まる学習会ではサマースクールで体験している。北相木村はそれらが、生活の中で体験できるすばらしいところである。ぜひ応援したいとのことであった。

(3) 目的

北相木村の子どもたちは、基礎学力的には全国レベルでも、決して低くないが、小規模校ゆえに、経験による知識や判断力に乏しく、思考力も弱い。花まる学習会の授業をとおして、個々の判断力、思考力を高める。



(4) 現状

花まる学習会の全面的支援を受けて、月1回の授業を実施（年10回）。それを受けて各担任が、朝の時間やドリルの時間に組み入れて実施。その他、年1回、家庭学級講座として、高濱先生の講演会を実施している（今年度は、10月25日に実施）。

花まる学習会の柱の一つであります「サマーキャンプ」でも、北相木村を取り上げていただき、毎年60人程の子どもとスタッフが、北相木村の施設を利用し、地元の子どもたちと交流している。

◎本校教育活動への取り組みの実際

○花まる教室の先生方による授業

- ・花まる学習会の教材を使っての授業（年間13時間）高濱氏ほか教室の先生方による授業。

○学校職員による授業

- ・朝の連学年ドリル15分間（週2回）『（思考力を高めるための花まる教材（なぞペー、I-CUBE、キューブキューブ等）を使って）』
- ・業間の基礎ドリル15分（週1回） 花まる漢字検定を使っての漢字練習
学年ごとに学期末の漢字検定を目標に頑張っている。

(5) 実践しての成果と課題

○児童、保護者のアンケート結果から（資料2）

花まる学習の授業には多くの児童が楽しいと感じており、満足度が大変高い。さらに、子ども自身が自分の成長を実感し、算数が好きになり、得意になった、考えることが好きになったと感じるなど、子どもたちの気持ちの面で大きな成果が出てきている。保護者においても、わが子の成長していく姿を実感し、花まる学習への関心が高く、今後への期待が高まっている。

○本校で導入して2年目にあたるが、長期的な成果は、もう少し長い目で見守っていく必要がある。

(6) 今後の取り組みについて

北相木小学校の特色ある教育活動として、北相木村教育委員会の全面的な支援のもと、導入して2年が経過し、確実に子どもたちに変化が見えてきている。今後も、花まる学習会との一層の連携を深め、これからますます厳しくなる社会・経済環境のなかにあっても、一人前の大人として、自立・自活して生活できるようなたくましい子どもたちに育つよう、学校教育の使命を果たしていきたいと考えている。

この花まる学習を取り入れて育った子どもたちが、その後どのように社会に出て活躍できたかは、今後長い目で見えていかないと検証はできないが、子どもたちの成長していく姿から、確かな手ごたえを感じている。本校では、花まる学習会、北相木村教育委員会の全面的支援をいただきながら、今後も継続的に取り組んでいく所存である。

平成 24 年度 北相木小学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

人や自然に愛される子
自ら考え、自ら学ぶ子
苦しさに耐えうる心と体をもつ子

<地域との関わり>

- ・地域の方と取り組む行事「家難祓」
- ・ふるさとの山「御座山」「三滝山」登山
- ・昔からの冬の運動「田んぼリンク」

【目指す子どもの姿】

- (1) 自分に問いかけることで、自分で気づき、考え、行動できる子ども
- (2) 人やもの・自然と関わり合いながら、互いを尊重し合える子ども
- (3) 失敗を怖がらず、物事に取り組めるたくましい子ども
- (4) よく遊び、気持ちよく歌える子ども

【今年度重点目標】

3つの柱をたてて具体的に取り組む。

- ① 授業の充実・思考力・基礎学力 <学力の向上>
 - ② みんなで仲良く <コミュニケーション力の向上>
 - ③ 健康な体作り <体力向上>
- 合言葉「**かしこく なかよく 元気な子**」
良く学び良く遊び良く働く子

重 点 活 動

【学力向上】

《具体的活動》

- 授業の充実
 - ・ねらいを明確にする授業作り
 - ・人やものに関わり合う授業作り
 - ・わかったことが自覚できる授業作り
 - ・ノート指導
 - ・算数でますノートの奨励
- 花まる学習で学力アップ**
 - ・高濱先生によるアルゴゲーム、なぞペー・I-CUBE・キューブキューブを用いた授業（年間13時間）
 - ・思考力を高めるための問題作り
- 読書
 - ・外部講師による月1回の読み聞かせ
 - ・朝読書
- 基礎学力・家庭学習
 - ・朝の連ドリ
 - ・基礎力を高める花まる漢検、サボテン（計算力）
 - ・業間の基礎ドリルは週1漢字を行う

【コミュニケーション力向上】

《具体的活動》

- 歌声の響き合う学校
 - ・気持ちよく歌い、一日がスタートできるように、朝の歌を位置づける。
- 互いを受け入れ高め合う交流活動
 - ・お互いを大切にし、尊重し合える人権感覚も養う。
 - ・**山村留学生との交流**
 - ・縦割り活動での他学年との交流
 - ・南相木小学校との交流
 - ・地域の皆さんとの交流
 - ・保育園との交流
- みんなで作る児童会
 - ・全校児童が参加して、児童会活動を行う。
 - ・よりよい学校生活のために、みんなで知恵を出し合う。

【体力向上】

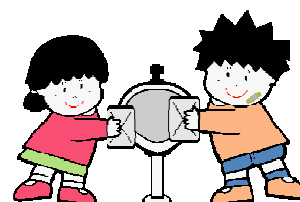
《具体的活動》

- 楽しく体を動かす全校体育
- 体を動かす休み時間
 - ・一輪車に親しめるように、練習場を整備する。
- 創造的活動を培うノーメディア
 - ・毎月14日をノーメディアデーとする。
 - ・メディアから離れた活動を考え実践する。
 - ・ノーメディアカードで1日を振り返る。
- 体づくりのための食育
 - ・残食ゼロの継続
 - ・セレクト給食などによる食品選択能力向上
 - ・栽培活動との連携
 - ・自分で育てて自分で活用！！
- 体力向上につながる体験活動
 - ・登山・スケート・水泳で体力向上をめざす。

北相木小学校の教育活動の土台【自問清掃】

心の中の五つの玉を磨く清掃

- ・がまん玉・・・意志力を高め、自由の意味を知る。
- ・しんせつ玉・・・協調の精神を学ぶ。
- ・みつけ玉・・・創造力を発揮して取り組む。
- ・感謝玉・・・自分の存在感と感謝の気持ちをもつ。
- ・正直玉・・・自分の心に尺度を築き、行動できる。



【子ども】「生きる力」を高めるための素地力をつける。

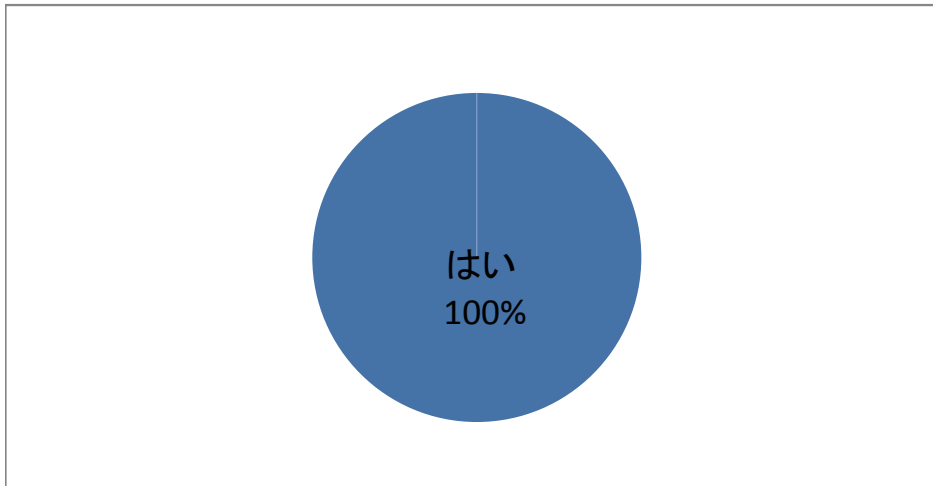
【教師】子どもの自問を信じて待ち、子どもの育ちから学ぶ。

【1年間の花まる学習会の授業を振り返って 生徒アンケート概要(1～6年生)】

北相木小学校 全校生徒アンケート結果(2012年2月実施)より

昨年度に引き続き、2011年4月から2012年2月にかけて、月に1回のペースで長野県北相木小学校にて「考えることを好きになってもらう。考える力を伸ばす」ということを目的とした、花まる式授業が行われた。以下は、1年間の授業後に実施された、全校生徒アンケートの概要である。

◆花まる学習会の授業は楽しかったですか？



まず、授業の楽しさに関しては、左のグラフの通り、100%の生徒が「楽しかった」と回答している。

このことから、花まる授業の生徒満足度が非常に高いことがわかる。

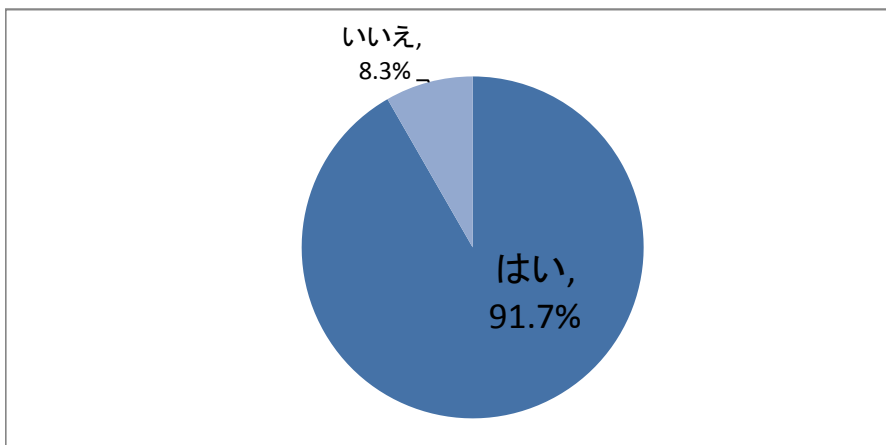
回答	人数(人)	%
1 はい、とても楽しかった。	25	67.6%
2 はい、楽しかった。	12	32.4%
3 はい、どちらかと言えば楽しかった。	0	0.0%
4 いいえ、どちらかといえばつまらなかった。	0	0.0%
5 いいえ、つまらなかった。	0	0.0%
6 いいえ、とてもつまらなかった。	0	0.0%

※回答1, 2, 3を「はい」に分類

※回答4, 5, 6を「いいえ」に分類

(無効回答0名)

◆花まる学習会の授業を受けて成長したと思うところがありますか？



次に、楽しいだけではなく、成長したかどうかという設問にも、91.7%もの児童が授業を受けて、「成長したところがある」と答えている。

9割以上の子達が「成長したと思うところがある」と答えていることから、子ども達自身が花まる授業の有用性の高さを感じていることがわかる。

回答	人数(人)	%
1 はい、とても成長したと思うところがある。	10	27.8%
2 はい、成長したと思うところがある。	14	38.9%
3 はい、どちらかと言えば成長したと思うところがある。	9	25.0%
4 いいえ、どちらかと言えば成長したと思うところはない。	1	2.8%
5 いいえ、あまり成長したと思うところはない。	2	5.5%
6 いいえ、まったく成長したと思うところはない。	0	0.0%

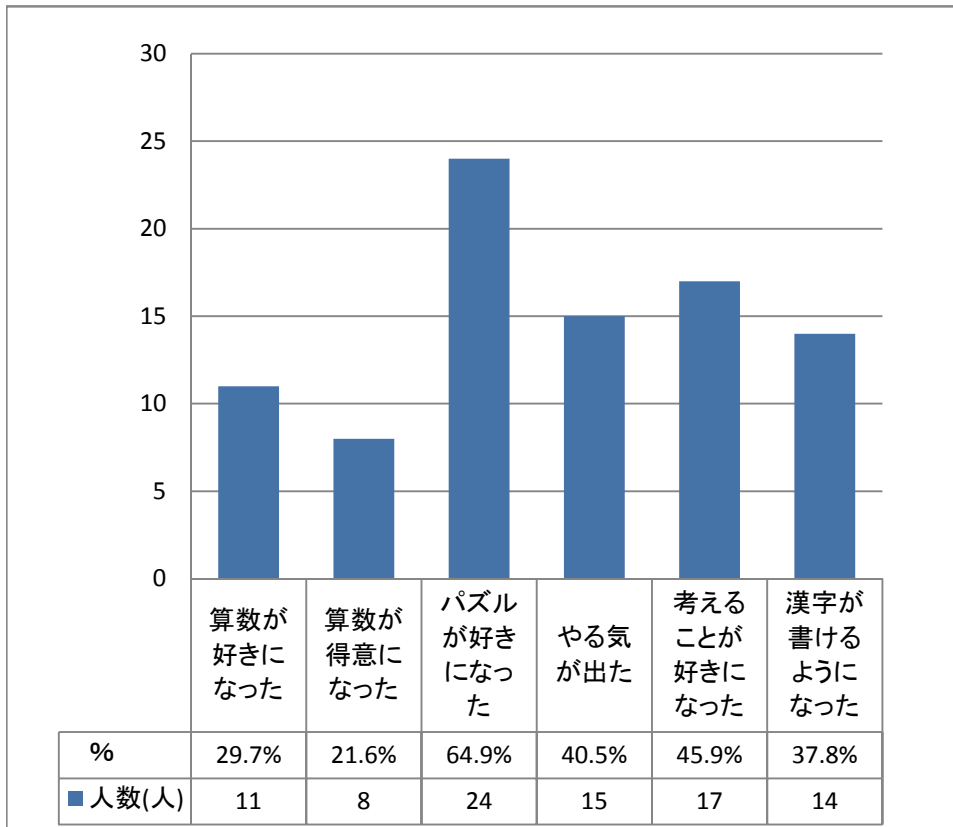
※回答1, 2, 3を「はい」に分類

※回答4, 5, 6を「いいえ」に分類

(無効回答1名)

◆算数が好きになった&得意になった、などのプラスの効果はありますか？

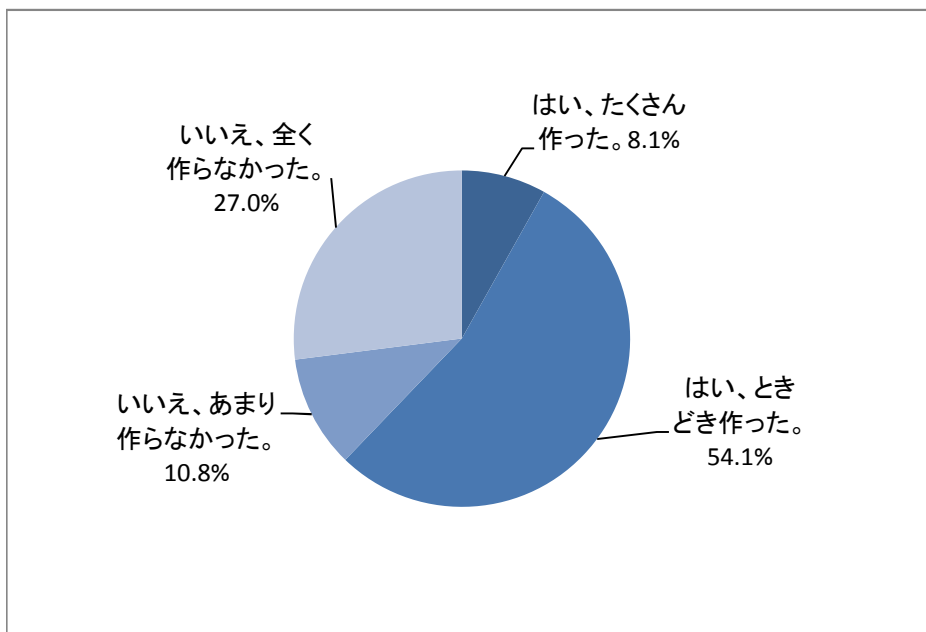
(授業を受けて「成長した」と答えた人の中での複数回答)



そして多くの子が、成長しただけではなく、
 「算数が好きになった」
 「算数が得意になった」
 「パズルが好きになった」
 「やる気になった」
 「考えることが好きになった」
 「漢字が書けるようになった」
 と、花まる授業を受けてのプラスの効果を回答している。

花まる学習会の月1回の授業を受けて、算数が好き、得意になった、考えることが好きになった、と子どもたちが答えていることから、子ども達の気持ちの面でも、花まる学習会の授業は大きな効果があると言えるだろう。

◆この一年間で、あなたは手づくりパズルを作ってみましたか？

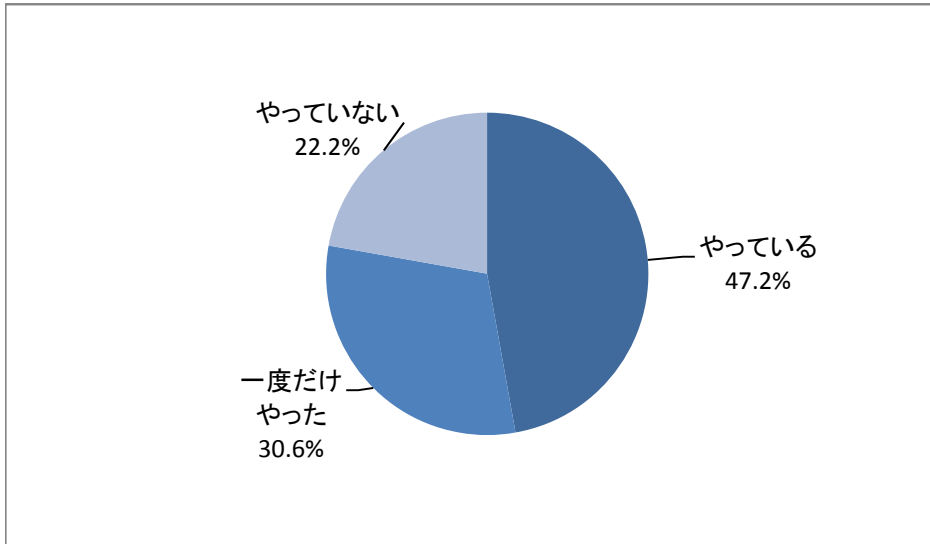


日常的に思考力を伸ばすという主旨のもと、子ども達に「手づくりパズルをつくろう！」という呼びかけを行った。
 考える力とは、一朝一夕に身に付くものではなく、日常的な習慣とすることが重要である、との考えからである。
 担任の先生のご協力のおかげで、「たくさん作った」「ときどき作った」と回答している子達を合わせると、66.2%となった。
 「日常的に楽しみながら考える力を伸ばす」試みの一環として、子ども達の中に、問題をつくって出し合う、という切磋琢磨の文化が根付くことを期待している。

回答	人数(人)	%
1 はい、たくさん作った。	3	8.1%
2 はい、ときどき作った。	20	54.1%
3 いいえ、あまり作らなかった。	4	10.8%
4 いいえ、全く作らなかった。	10	27.0%

(無効回答0名)

◆花まる学習会の授業でやったことを、家に帰ってからしたことはありますか？

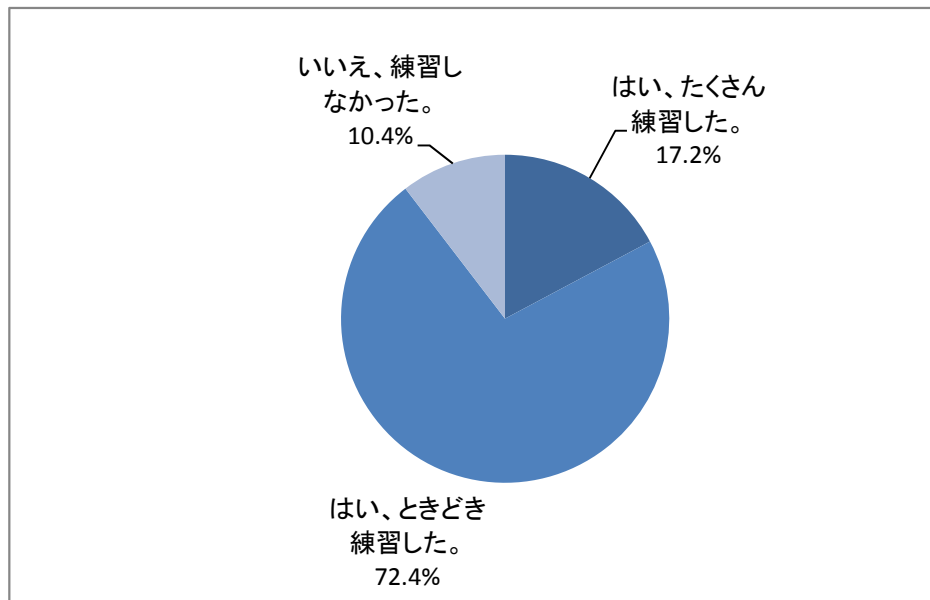


77.8%の児童が家に帰って、花まる学習会の授業でやったことを家でやったことがあると答えており、子どもたちにとって、「楽しく」「やる気」になったりする学習であることがいえる。

回答	人数(人)	%
1 はい、家に帰ってから家族の人に説明していつもいっしょにやっている。	1	2.8%
2 はい、家族と、たまにいっしょにやっている。	16	44.4%
3 はい、家族と一度だけやったことがある。	11	30.6%
4 いいえ、やろうと思ったことはあるけど、やったことがない。	1	2.8%
5 いいえ、やったことがない。	3	8.3%
6 いいえ、やったことがないし、やろうと思ったこともない。	4	11.1%

※回答1, 2, を「やっています」に分類
 ※回答3, を「一度だけやった」に分類
 ※回答4, 5, 6を「やっていない」に分類

◆昨年度の授業の中で、漢字検定もおこないました。この一年の中であなたは花まる漢字検定に向けて練習をしましたか？



今年は初めての花まる漢字検定の実施だったが、1学期2学期3学期を行うごとに、少しずつ定着してきた。

担任の先生方の協力のもと、子ども達自身が家庭で目標を持って取り組み、記述回答からも、多くの子が検定に合格するために漢字の練習を積極的に行い、その結果、努力の成果が目に見えたことに満足している様子が伺える。

「考える力」の育成と共に、基礎

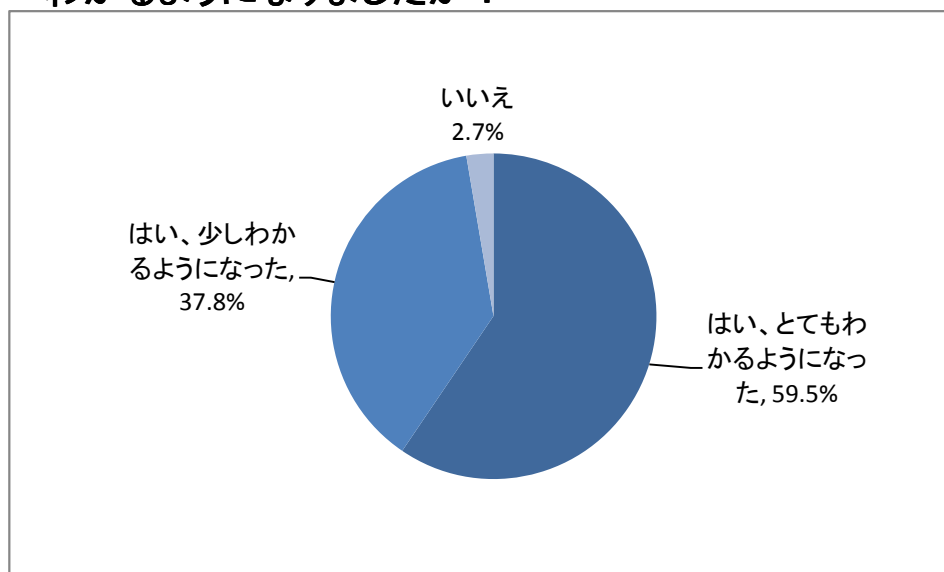
回答	人数(人)	%
1 はい、たくさん練習した。	5	17.2%
2 はい、ときどき練習した。	21	72.4%
3 いいえ、あまり練習しなかった。	1	3.5%
4 いいえ、全く練習しなかった。	2	6.9%

※回答3, 4, を「いいえ、練習しなかった」に分類

(無効回答1名)

(*1年生は漢字検定を実施していないため除く)

◆朝の花まるの時間を始めてから、花まる学習会の授業で行うなぞペーがわかるようになりましたか？



朝の15分間を使った花まるの時間で行うなぞペーが、ほとんどの児童が分かるようになったと答えていて、子どもたちの考える力が育ちつつあるといえる。

回答	人数(人)	%
1 はい、とてもよくわかるようになった。	22	59.5%
2 はい、前よりもすこしわかるようになった。	14	37.8%
3 いいえ、あまりわかるようにはならなかった。	1	2.7%
4 いいえ、全くわかるようにはならなかった。	0	0.0%

※回答3, 4, を「いいえ」に分類

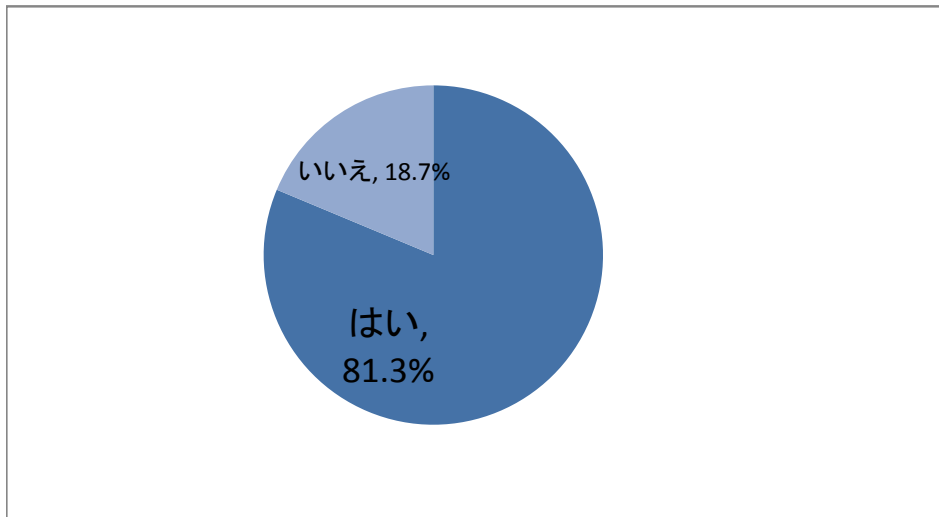
(無効回答0名)

【1年間の高濱授業を振り返って 保護者アンケート概要】

北相木小学校 保護者アンケート結果(2012年2月実施)より

2011年4月から2012年2月にかけて、月に一回のペースで「考えることを好きになってもらう。考える力を伸ばす」ということを目的とした、高濱正伸の授業が行われた。以下は、1年間の授業後に実施された、保護者アンケートの概要である(回答数16名)。

◆今年度、月一回ペースで花まる学習会の授業を行ってありました。お子様はご家庭で高濱の授業の話をしていましたか？



グラフの通り、81.3%のご家庭がこの活動をご存知であると回答した。5分の4以上のご家庭で話題にされていることが分かる。

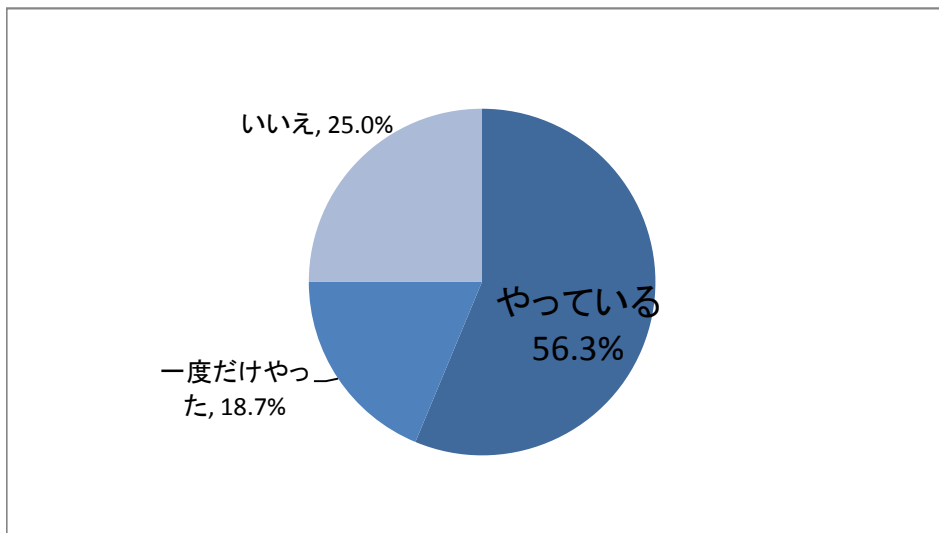
回答	人数(人)	%
1 はい、楽しそうに授業の話をしていた。	9	56.3%
2 はい、授業の話をしていた。	4	25.0%
3 いいえ、ほとんど授業の話をしたことがない。	3	18.7%
4 いいえ、一度も授業の話はしたことがない。	0	0.0%

※回答1, 2を「はい」に分類

※回答3, 4を「いいえ」に分類

(無効回答0名)

◆ご家庭で、授業でおこなった内容を一緒に行ったことはありましたか？



各家庭で、一緒にやったことのある家庭は、75.0%となり関心が高い結果となった。

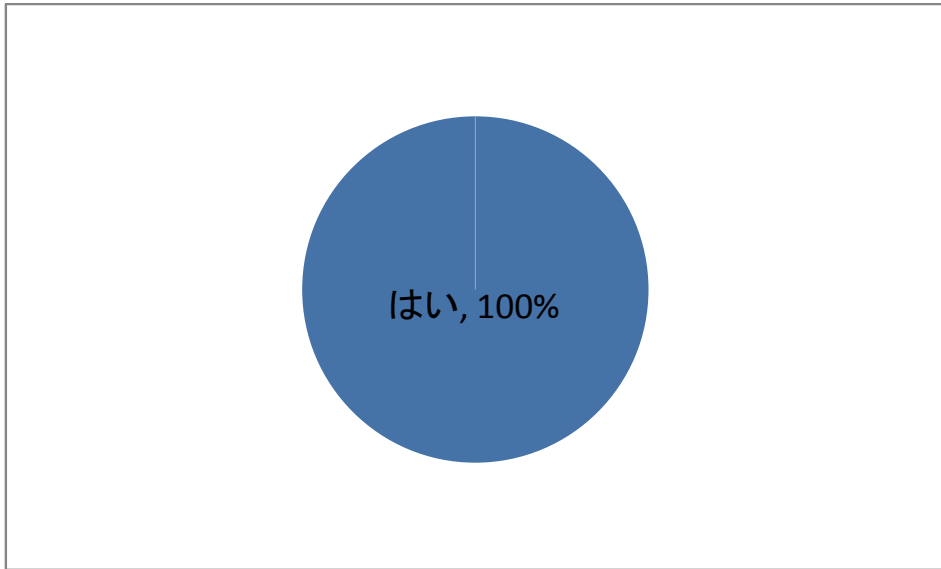
回答	人数(人)	%
1 はい、いつもいっしょにやっている。	1	6.3%
2 はい、たまにいっしょにやっている。	8	50.0%
3 はい、一度だけやったことがある。	3	18.7%
4 いいえ、やろうと思ったことはあるが、実際やったことはない。	3	18.7%
5 いいえ、やったことがない。	1	6.3%
6 いいえ、やったことがないし、やろうと思ったこともない。	0	0.0%

※回答1, 2を「やっている」に分類

※回答4, 5, 6を「やったことがない」に分類

(無効回答0名)

◆1つの問題を考え抜くことや、パズルを楽しむことなど、この1年でお子様に何らかの変化があったように感じたことはありますか？



全家庭で変化が見られると回答しており、授業の効果がうかがえる。

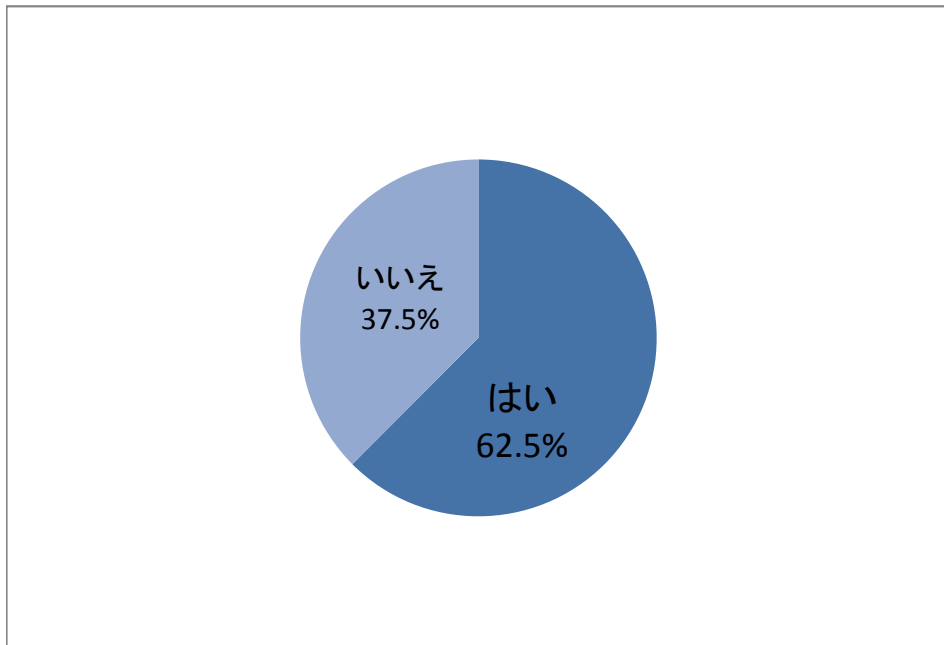
回答	人数(人)	%
1 変わったと感ることがある。	6	37.5%
2 変わったと感ることがたまにある。	10	62.5%
3 ほとんどない。	0	0.0%
4 全くない。	0	0.0%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答4, を「いいえ」に分類

(無効回答0名)

◆子ども達の基礎学力向上のために、年3回の「花まる漢字検定」を導入させていただきました。このことをご存知でしたでしょうか。



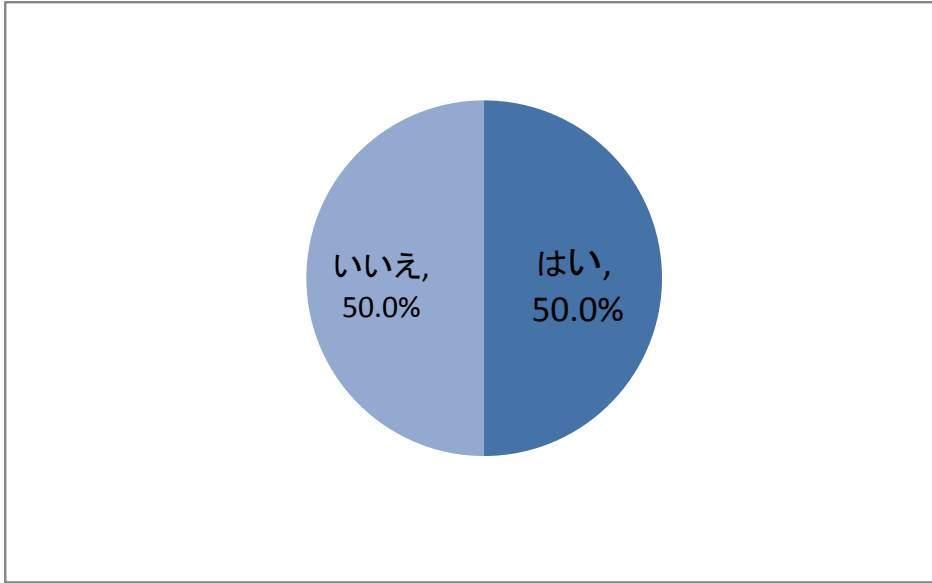
3分の2の家庭で知っていたが、知らなかったご家庭もあり、今後家庭にも知っていただく機会をとっていきたい。

回答	人数(人)	%
1 はい	10	62.5%
2 いいえ	6	37.5%

※回答1, 2, を「やっている」に分類

(無効回答0名)

◆子ども達が漢字検定のための練習を行うようになった等、この1年でお子様に何らかの変化があったように感じたことはありますか？



実際に、この検定のために、練習を行ったことで変化が見られたと感じたのは、半数程度であったと言える。

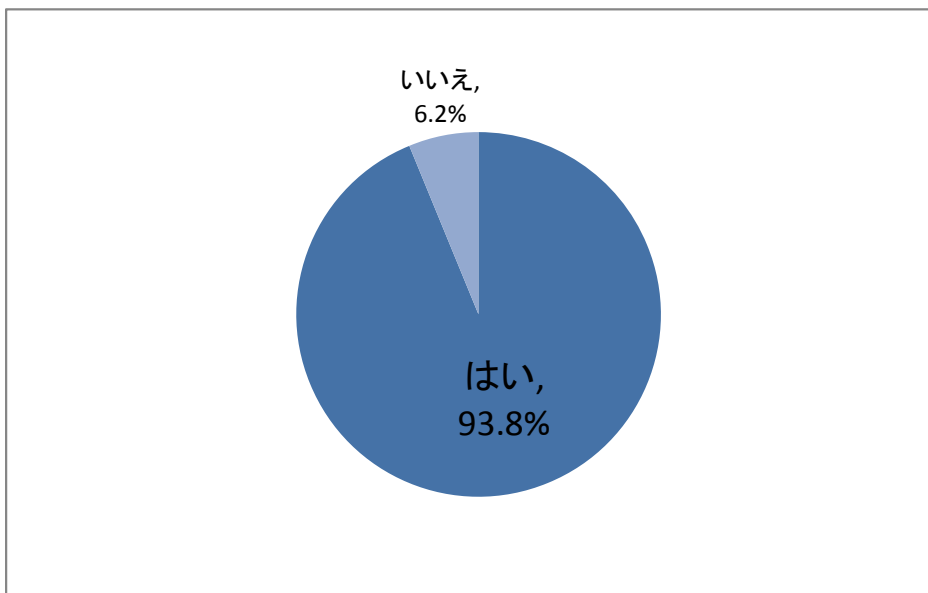
回答	人数(人)	%
1 変わったと感ることがある。	4	33.3%
2 変わったと感ることがたまにある。	2	16.7%
3 ほとんどない。	6	50.0%
4 全くない。	0	0.0%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答3, 4, を「いいえ」に分類

(無効回答4名)

◆北相木小学校では、サボテンという計算学習教材も導入させていただきました。このことはご存知でしたでしょうか？

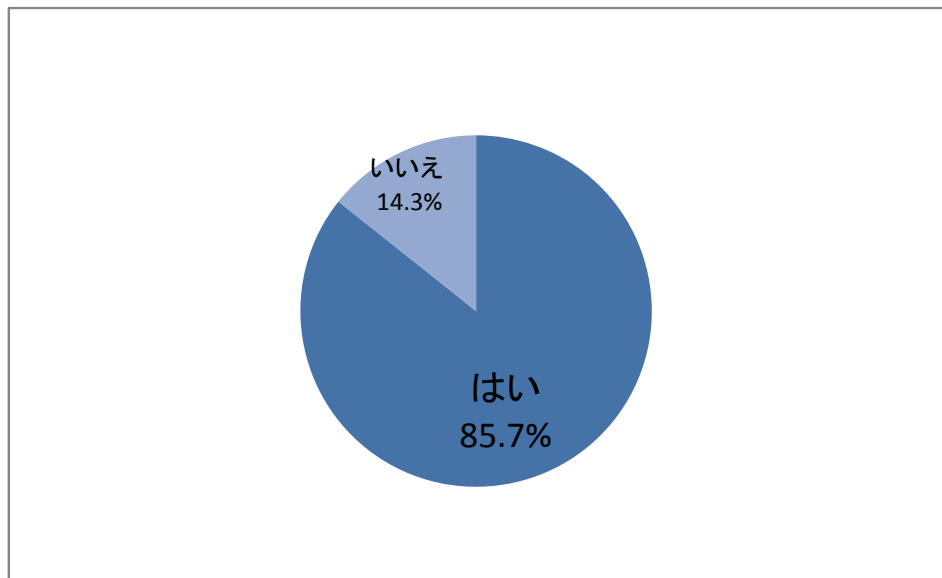


この試みに関しては、ほとんどの方が導入されていることをご存知であるという結果が出ている。

回答	人数(人)	%
1 はい	15	93.8%
2 いいえ	1	6.2%

(無効回答0名)

◆サボテン導入に関して、お子様の計算力、算数への意欲等何か変化があったように感じた事がありますか？



意欲に変化があったと感じている保護者の方が85.7%と高率であることがわかる。

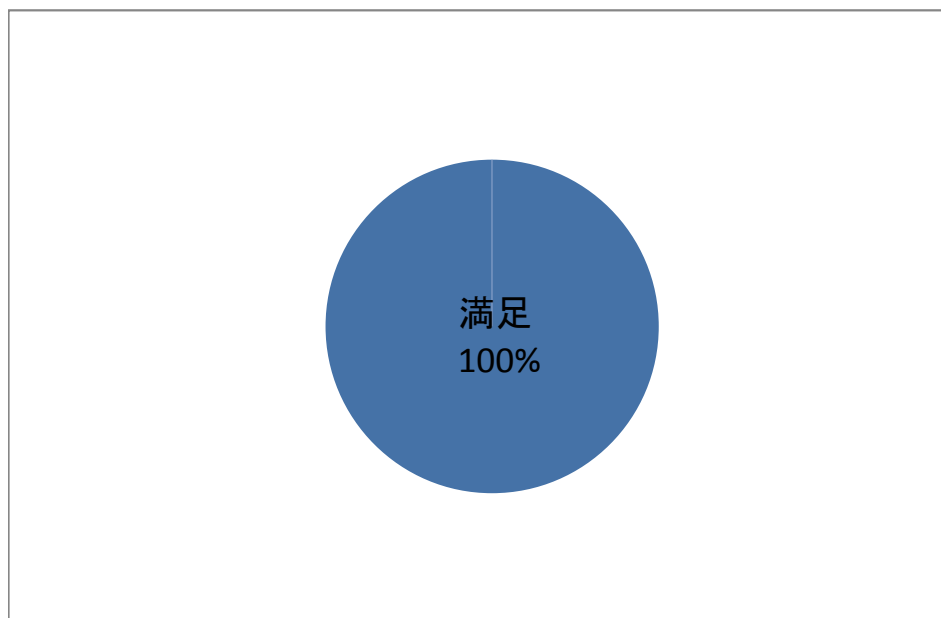
回答	人数(人)	%
1 変わったと感ずることがある。	9	64.3%
2 変わったと感ずることがたまにある。	3	21.4%
3 ほとんどない。	2	14.3%
4 全くない。	0	0.0%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答3, 4, を「いいえ」に分類

(無効回答2名)

◆総合的に見て、この1年間の高濱の授業はいかがでしたか？



以上のような結果から、100%の方が子ども達の様子などから、総合的に見て、この1年間の高濱授業に「満足」と答えている。

保護者の方からの高濱授業への評価は非常に高いと言えるだろう。

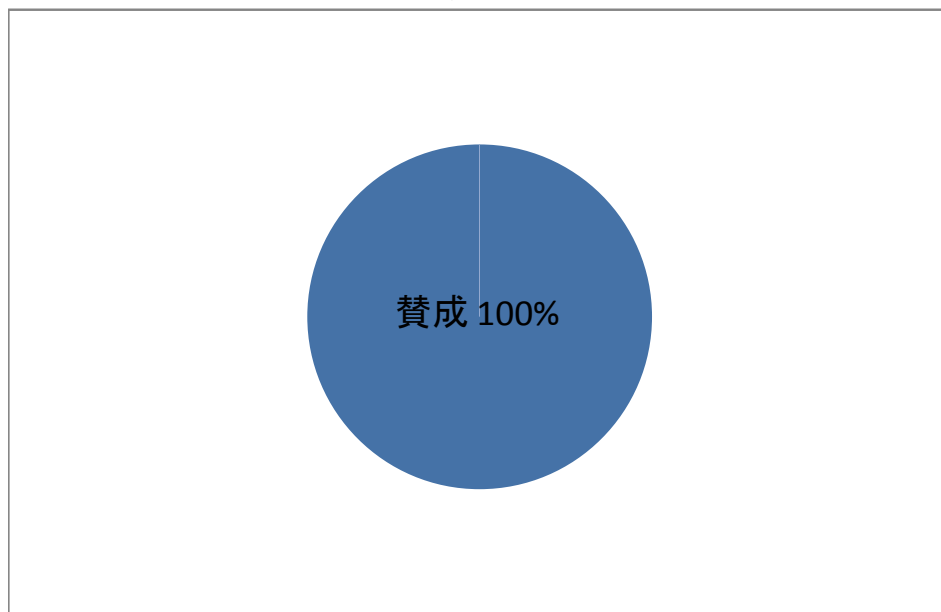
回答	人数(人)	%
1 大変満足している。	10	62.5%
2 満足している。	5	31.3%
3 どちらかといえば、満足している。	1	6.2%
4 どちらかといえば、不満である。	0	0.0%
5 不満である	0	0.0%
6 大変不満である。	0	0.0%
7 興味がないので、なんともいえない。	0	0.0%

※回答1, 2, 3を「満足」に分類

※回答4, 5, 6, 7を「不満・その他」に分類

(無効回答0名)

◆来年からもこのような授業があることに対して賛成ですか？



高濱授業に対して、多くの保護者の方が賛同しており、「思考力を育てる」と「基礎学力をつける」という主旨への期待度も高いことが伺える。

回答	人数(人)	%
1 賛成	16	100.0%
2 反対	0	0.0%

(無効回答0名)

2011年度の花まる学習会の授業では、引き続き日常的に思考力を育成するために、「手づくりなぞペー(パズル)運動」を推進をしつつ、年間月1回の授業を行った。また、「花まる漢字検定」の試みは、定着しつつあり、アンケートの自由記述回答からも、子ども達が目標に向けて頑張り、成果が目に見えることに満足している様子が伺える。月1回の思考力を伸ばす花まる学習会授業、そして漢字検定による基礎学力向上を伸ばす取り組みは、確実に結果としてきていると言えるだろう。また自由回答からは「毎月の授業を楽しみにしていた」、「算数が得意になった」等の前向きな声が出ている。

以上のことから、引き続き漢字等の、思考力の礎となる基礎学力強化の取り組みを、学校と家庭の協力のもと積極的に行う一方で、思考力育成の分野では、毎月1回の授業に加え、恒常的な試みとして、「サポテン」等を導入していきたいと考える。担任の先生にはさらにご協力を頂く形にはなるが、「やる気を育む」花まるメソッドを最大限活用して頂きつつ、2012年度は低学年は花まる学習会教材の「サポテン」等、思考力&基礎学力の新たな育成方法を検討していきたい。